

「納税環境整備」

税制調査会企画会合 10月16日

辻山 栄子

I 納税環境整備の論点

納税者の視点から、税制の簡素化や納税に係る利便性の向上、納税者意識の涵養等に向けた環境整備をどのように進めていくか。また、租税回避や脱税防止等に向け、納税者番号制度の検討をはじめ、適正な納税の確保をどのように図っていくのか。

II 主な検討課題

(1) 納税者利便の向上・課税の適正化

- ①最近の納税者の信頼確保に向けた主な施策
- ②電子申告・電子納税
- ③納付手段の多様化（コンビニ納付等）
- ④インターネット公売

(2) 納税環境を取り巻く最近の状況変化

- ①「社会保障番号・社会保障個人会計」の議論
- ②「社会保障カード」（仮称）制度の導入の議論
- ③「社会保障番号」に関する実務的な議論の整理
- ④住民基本台帳ネットワークシステムの利用
- ⑤住民票コードの利用

(3) 納税者番号制度

- ①納税者番号制度の議論の推移
- ②納税者番号制度を導入する意義
- ③主要論点（付番制度、番号記載の対象となる取引の範囲 等）
- ④納税者番号として求められる基礎的条件
- ⑤個人所得課税方式の納税者番号制度との関係
- ⑥所得捕捉を高めるための資料情報制度

(4) 罰則

- ①脱税犯の懲役刑
- ②罰金刑
- ③最近の脱税事件の現状
- ④最近の経済犯罪の罰則見直し
- ⑤申告件数と実調率の推移

(5) 租税教育・広報

- ①租税教育・広報の取組み
- ②今後の課題